

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-169	13-007	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
題名 (原題/訳)		
Serum urate levels and consumption of common beverages and alcohol among Chinese in Singapore. シンガポールの中国人における、血清尿酸レベルと一般的な飲料やアルコール消費との関連		
執筆者		
Teng GG, Tan CS, Santosa A, Saag KG, Yuan JM, Koh WP.		
掲載誌		
Arthritis Care Res (Hoboken). 2013 Sep;65(9):1432-40. doi: 10.1002/acr.21999.		
キーワード		PMID
血清尿酸、飲料、アルコール、シンガポール、中国人		23463601
要 旨		
<p>目的： 欧米の研究からアルコール飲料の血清尿酸（SU）レベルへの影響が示されているが、アジアの集団からのデータが不足している。私たちはシンガポールの中国人におけるアルコール飲料と SU レベル間の関連を評価した。</p> <p>方法： 研究集団は 1993 年から 1998 年の間に収集された 45～74 歳の Singapore Chinese Health Study Cohort の 483 人であった。生活習慣、病歴および食事はインタビューを通じて収集された。SU レベルと他のバイオマーカーは 1994 年から 1996 年の間で採取した血液から測定した。</p> <p>結果： 平均年齢は 57.6 歳で 44 %が男性であった。SU レベルは幾何平均で 321 マイクロモル/リットル（範囲：157-719）であった。平均 SU レベルはアルコール消費量とともに増加した（傾向性の検定：P=0.024）。毎日アルコールを飲む人の平均 SU レベルは非飲酒者のそれに比べ、42.6 マイクロモル/リットル高かった。同様に、緑茶摂取量の頻度の増加と SU レベルの上昇は関連していた。最も高い平均 SU レベルは毎日緑茶を飲む人々（25.0 μモル/リットルの差）で観察された。（非飲酒者と比較した傾向性検定： P=0.009）。非飲酒者と比較すると毎日緑茶を飲む人ではほぼ 5 倍の増加が高尿酸血症で観察された(オッズ比[OR] 4.83 、95%信頼区間 [95% CI] 1.10-21.23)。一方、緑茶を飲む人は 2 倍の増加が高尿酸血症で観察された(OR 2.12、95%信頼区間 1.03-4.36)。本研究では紅茶、コーヒー、フルーツジュース、ソーダを飲む個人における SU レベルの上昇を観察されなかった。</p> <p>結論： アルコール消費量は SU レベルを増加させる。緑茶を毎日飲むことが高尿酸血症と関連しているという知見は、今後の研究での検証を必要とする。</p>		